



# 2026年3月期 通期 決算説明資料

**CREATIVE CONNECTIVITY**  
—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社 (6798)  
2026年5月12日

- 売上高は482億円と前期比0.3%の微増、営業利益は構造改革プログラムによる固定費削減の効果もあり、前期の△2.2億円から4.3億円の黒字に転換
- 経常利益は不動産収支、為替差益等により前期比126.3%増の12.4億円、特別損失として減損損失や繰延税金資産の取崩等を計上するも、当期純利益は0.5億円と黒字で着地

単位：百万円

	FY2024 実績	FY2025 実績	増減率
売上高	48,051	48,204	+0.3%
営業利益 (営業利益率)	△220 (△0.5%)	430 (0.9%)	—
経常利益	549	1,243	+126.3%
特別損失 ※	1,520	391	△74.3%
法人税等	921	810	△12.0%
当期純利益	△1,884	56	—
1株当たり当期純利益 (円)	△297.39	8.87	—
為替平均レート (1USD=)	152.65円	150.66円	

※特別損失の主な内訳

FY2024 事業構造改革費用869百万円、減損損失497百万円 / FY2025 減損損失314百万円

- CS：車載、家電、産機市場が好調に推移するも、情報通信市場が低調で増収減益
- SCI：車載、家電市場が堅調に推移、国内・欧米拠点の固定費削減、開発費用等の回収により赤字幅を縮小
- イノベーションセンター：通信モジュール事業の移管と、音声分析・筋電センサーの事業化の遅れにより低調

単位：百万円

		FY2024 実績	FY2025 実績	前期比		コメント
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	22,156	22,520	+363	+1.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車載バッテリー関連、2輪バイク関連が好調</li> <li>■ アミューズメント、再生可能エネルギー関連が拡大</li> <li>■ スマートフォン関連が減少</li> </ul>
	営業利益	1,534	1,187	△346	△22.6%	
SCI 事業部	売上高	25,643	25,621	△21	△0.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サニタリー用リモコンが好調</li> <li>■ 車両用・E-bike用操作ユニットが好調</li> <li>■ スマート家電・住設用ユニットが減少</li> </ul>
	営業利益	△1,308	△378	+930	—	
イノベーション センター	売上高	251	62	△189	△75.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6月より通信モジュール事業をSCIに移管</li> </ul>
	営業利益	△446	△379	+67	—	
合計	売上高	48,051	48,204	+153	+0.3%	
	営業利益	△220	430	+650	—	
為替平均レート (1USD=)		152.65円	150.66円			

- CS : 車載、家電、産機市場が好調に推移するも、情報通信市場は下期にかけて低調に推移
- SCI : 3Qは開発費用等の回収もあり黒字を確保、4Qはメキシコの退職給付費用計上等により赤字となるも、国内・欧米拠点の固定費削減等により赤字幅は縮小傾向

単位：百万円

		FY2025				3Q比 増減額	3Q → 4Qのトレンド
		1Q	2Q	3Q	4Q		
CS 事業部	売上高	5,207	5,884	5,811	5,617	△194	産機市場は好調、情報通信市場は低調、4Qは中華圏の稼働減により営業利益減
	営業利益	229	431	366	160	△206	
SCI 事業部	売上高	5,801	6,238	6,221	7,360	+1,138	在庫販売等により4Qは売上増、メキシコの退職給付費用計上等により営業利益減
	営業利益	△365	△168	313	△157	△471	
イノベーション センター	売上高	20	0	1	39	+38	4Qは売上増により営業赤字は縮小
	営業利益	△144	△99	△90	△44	+45	
合計	売上高	11,029	12,123	12,034	13,017	+982	
	営業利益	△280	163	590	△42	△632	

- 情報通信市場：スマートフォン関連コネクタが低調で前年を下回る
- 車載市場：コネクタ、操作ユニットが好調で前年を上回る

単位：百万円

	FY2024 実績	FY2025 実績	前期比		コメント
			増減額	増減率	
情報通信	6,949	5,824	△1,124	△16.2%	■ スマートフォン関連コネクタが減少
家電	19,820	19,920	+99	+0.5%	■ アミューズメント関連コネクタが拡大 ■ サニタリー用リモコンが拡大 ■ 住設用リモコン、ユニットが低調
車載	16,100	17,187	+1,087	+6.8%	■ 車載バッテリー関連、二輪関連コネクタが拡大 ■ 車両用・E-Bike用操作ユニットが拡大
産機・その他	5,180	5,271	+91	+1.8%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが拡大
合計	48,051	48,204	+153	+0.3%	

- 日本はサニタリー用リモコン、車両用・E-bike用操作ユニットが好調で前年を上回る
- 北米はスマート家電・住設用ユニットが低調で前年を下回る
- 中国は再生可能エネルギー関連コネクタ、車載バッテリー関連コネクタが拡大

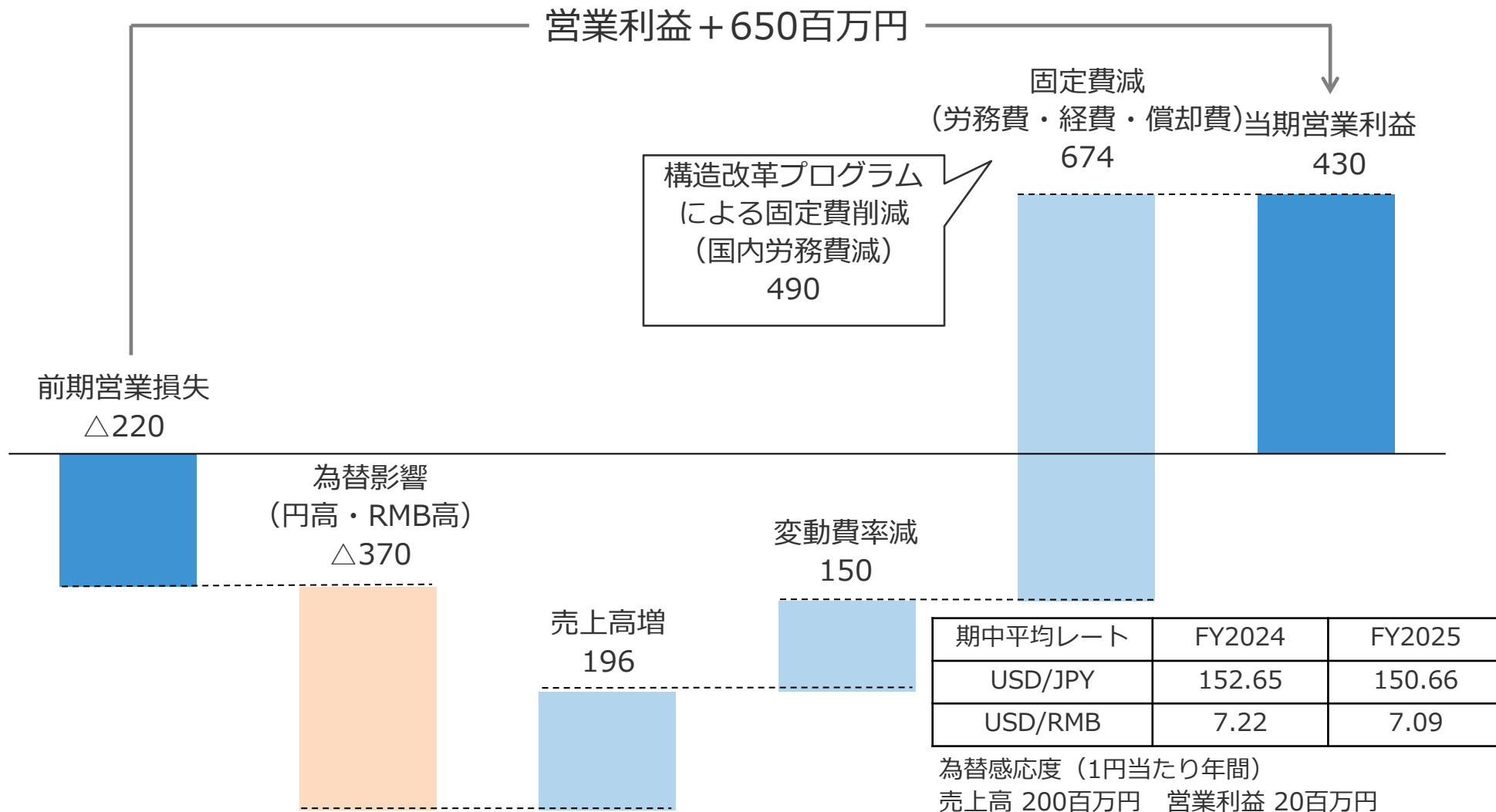
単位：百万円

	FY2024 実績	FY2025 実績	前期比		コメント
			増減額	増減率	
日本	17,254	17,944	+690	+4.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サニタリー用リモコンが好調</li> <li>■ 車両用・E-bike用操作ユニットが好調</li> </ul>
北米	10,976	9,688	△1,287	△11.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スマート家電・住設用ユニットが低調</li> </ul>
中国	9,483	10,401	+918	+9.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再生可能エネルギー関連コネクタが拡大</li> <li>■ 車載バッテリー関連コネクタが拡大</li> </ul>
その他アジア (含む台湾)	8,255	8,130	△125	△1.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スマートフォン関連コネクタが減少</li> </ul>
欧州	2,080	2,039	△41	△2.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住設用リモコンが減少</li> </ul>
合計	48,051	48,204	+153	+0.3%	

※地域別内訳数値は、社内管理数値を使用しております。

- 為替影響を除く実質ベースでの売上高増、構造改革プログラムによる固定費削減の効果により、前期の営業損失から4.3億円の営業利益に黒字転換

単位：百万円



- 売上高は490億円と前期比1.7%の増収、営業利益は構造改革プログラムによる固定費削減と売上高の増加により、前期の4.3億円から8億円に増益を見込む

単位：百万円

	FY2025実績	FY2026予想	増減率
売上高	48,204	49,000	+ 1.7%
営業利益 (営業利益率)	430 (0.9%)	800 (1.6%)	+ 86.0%
経常利益	1,243	1,200	△3.5%
当期純利益	56	800	—
1株当たり当期純利益 (円)	8.87	126.41	—
配当金 (円)	100.00 (中間 50/期末 50)	100.00 (中間 50/期末 50)	
為替平均レート (1USD=)	150.66円	155.00円	

(注) 中東情勢の緊迫化による影響については現時点での予測が困難なため、FY2026業績予想に織り込んでおりません。

単位：百万円

	2025/3 (A)	2026/3 (B)	増減 (B) - (A)
<b>資産</b>	57,684	57,625	△59
現預金	10,475	9,673	△801
受取手形及び売掛金	13,935	13,301	△634
棚卸資産	7,673	6,741	△931
有形・無形固定資産	14,956	14,666	△290
投資その他の資産	9,578	12,114	+2,535
<b>負債</b>	28,462	26,468	△1,994
買掛金及び未払金	6,901	5,452	△1,449
有利子負債	15,616	14,213	△1,402
<b>純資産</b>	29,221	31,156	+1,934
資本金	7,996	7,996	—
<b>自己資本比率</b>	50.7%	54.1%	+3.4%

単位：百万円

	FY2024	FY2025
<b>営業キャッシュフロー</b>	2,439	2,023
運転資金	245	401
税引前利益	△963	867
減価償却費	2,347	2,626
退職給付に係る資産負債の増減額	△133	△460
事業構造改革費用の支払額	△7	△820
その他	950	△589
<b>投資キャッシュフロー</b>	△2,216	△2,262
<b>フリーキャッシュフロー</b>	222	△238
<b>財務キャッシュフロー</b>	286	△2,452
有利子負債の増減額	924	△1,560
自己株式の増減額	△1	△1
配当金の支払金額	△636	△890
<b>現金等換算差額</b>	△291	1,869
<b>現金等期首残高</b>	10,197	10,415
<b>現金等期末残高</b>	10,415	9,594

## 注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。